

## 令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

### 1. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

各学年、設定したテーマに沿って学習を行うことができた。また、他教科の目標との関連付けをすることができた。

海の生き物や糸満のサバニの歴史など地域の理解につながった。また、海の環境を守る視点から発展し、シラヒゲウニの人工授精や放流、水質調査などを行い身近な自然環境を守る必要性を感じるようになった。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

高嶺小学校の立地条件(内陸部)から、海の資源以外にも、地域の水資源(湧水)である嘉手志川や与座ガーの歴史や、南山城の歴史から海を隔てた大和や中国との貿易など、学びの範囲を深めることができた。水資源(簡易水道～地下ダム)・他教科との横断的な学習を進めることで多面的・多角的な学習を行うことができた。

### 2. 課題の改善のための取組の方向性

体験学習等は関係機関との連携が必要なので、日程を調整する必要があった。

関係機関が実施できる日と学校の行事が重なる場合もあり、調整を密にする必要が

ある。特に海での活動は、潮の干満もあるので、実施日が限られた。(協力要請した

外部機関は協力的で連携しやすかった。)

また、校外での活動になるため、移動手段の確保(バスや運転手)等、事前の調

整も必要である。